



実り多い2学期を終えて

本日、2学期終業式を行いました。78日間あった2学期ですが、皆さんはどのように振り返るでしょうか。

10月の半ばまでは、今年の夏はいつまで続くのだろうと思ったほどの残暑が厳しかったことを思い出します。この2学期も保護者や地域の皆様のご支援をいただき、校外学習や稲刈りなどの体験学習がとても充実していたと実感しています。

教室では教科書を使った学習が主な活動となりますが、それだけでは十分な学びを得ることはできません。日頃学んでいることから疑問を持ったり、実際はどうなんだろうと感じたりすることがたくさんあると思います。2学期もそのような思いを持って、様々な体験や校外学習に行くことができました。小学生も中学生も、学んだあとの感想やまとめをみると、一人一人がそれぞれ自分の学びを深めていることに気づかされます。本当にうれしい限りです。これこそが「町全体が教室で町民全てが先生である」という、ふるさと学習の核となる部分であると思います。そのふるさと学習があるからこそ、10月の修学旅行では様々な見聞を広げる機会につながりました。

2学期を終えるにあたり、本年もお世話になった保護者・地域の皆様に厚く御礼申し上げます。よい年をお迎えください。ありがとうございました。

小中合同持久走大会

11日、本年度の小中合同持久走大会を行いました。9日の試走を含めて約1月間、持久走大会に向けて走る練習を重ねて本番に臨みました。



当日は保護者や地域の方々も応援に来てくださり、「がんばれー！」と大きな声援をかけてくれました。低学年、中学年、高学年、そして中学生がそれぞれの距離を全力で走りきる姿がとても印象的でした。また、小学生が走っているときは中学生が、中学生が走っているときは小学生が大きな声援を送りました。これも小中合同で行っている大きな意義があると実感しています。皆さんの頑張りに拍手を送ります！



保護者や地域の皆様、応援ありがとうございました。

校内算数研修会より

明神小学校では3日、算数科の職員研修の実施にあたり、村上和弥先生(元小学校校長)をお招きしました。



小学校4・5・6年生には算数の模擬授業をしてくださり、長さの比べ方についてみんなで考えました。直接長さを比べる、別のものを使って比べる、単位を使って比べる…などの意見が出て、子どもたちの学びが深まる様子が見られました。

教員対象の研究会では、低学年では数をどのように学んでいくのかタイルを使って学びました。中学年では1あたり量やかけ算、分離量や連続量について教具を交えて教えていただきました。そして、単位あたりの量を学ぶ小学校の算数が、高校の数学(微分積分)までつながっていることを改めて学ぶことができました。

村上先生からは、授業では子どもたちに何を学ぶのか必然性をもたせること、みんなで楽しく授業をすることが一番大切と伝えてくれました。私たちの日々の実践につながる、とても貴重な研修になりました。これからも教員の授業力向上のために研修を重ねていきます。

県ビブリオバトルに参加して

21日、和歌山県立図書館にて中学校ビブリオバトル県大会がありました。明神中学校からは2年連続で奈須麻実さんが参加しました。今回も表現豊かに、本の魅力を伝えようと頑張る姿が印象的で、中学校決勝の部(4名)に選ばれた活躍を見せてくれました。



年末年始の行事予定

12月24日(水)	二学期終業式
25日(木)	<中> 補習・部活動(～26日)
27日(土)	学校閉庁(～1/4)
1月1日(木)	元日
5日(月)	仕事始め
8日(木)	三学期始業式 <中> 身体測定
9日(金)	<小> 身体測定
13日(火)	<中> グランドゴルフ交流会